

「多様性と女性史」

日本のジェンダー平等を語る

12月16日(土)

14:00~16:00

会場 東北大学

片平キャンパス さくらホール



1913年日本初の女性大学生が
東北大学で誕生！
日本初女子大学生誕生から110周年、
文系の女性大学生誕生から100周年！



第1部. 「ミモザウェイズ」

学生参加型リーディング公演

第2部. 講演会「日本初の女子大生の誕生とその軌跡」

第3部. パネルディスカッション

第4部. グループワーク(予定)

第1部 朗読会

ミモザウェイズ1910-2020
わたしたちの道

脚本 トリニダード・ガルシア
朗読監修 柳田ありす
出演 東北大学学生

藤原 結菜 法学部
シャオ ジュンビン 環境科学研究科
横山 裕香 薬学研究科
チェン イヤオ 教育研究科
古内 聖弓 歯学研究科
村中 恵李花 文学部



「ジェンダー平等x朗読劇」

憲法によって男女平等が保証されているはずなのに「女性は会議で発言が長い」と言われたり
医学部入試で点数が引かれていたり
そのようなジェンダーを理由にした
差別が繰り返されているのはなぜだろう。
当日の朗読劇では、現代の3人の女性たちが
1910年代を訪れる
約30分の場面をお楽しみいただきます。

第2部 講演会

第3部 パネルディスカッション パネリスト



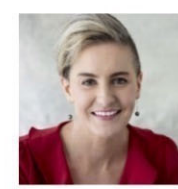
加藤 諭
東北大学
史料館 准教授



リポアル なみの
ミモザウェイズ
製作者



レベッカ ジェニスン
京都精華大学
名誉教授



スティール若希
株式会社enjoy日本
代表取締役

司会・モデレーター 李善姫 東北大学 DEI推進センター 講師

主催 東北大学DEI推進センター
日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会

後援 東北大学大学院文学研究科
仙台市

助成 笹川日仏財団



参加申込は
←こちら！